

11. その他中心市街地の活性化のために必要な事項

[1] 基本計画に掲げる事業等の推進上の留意事項

(1) まちづくりへの市民参画の推進

① ながい市民未来塾

本塾は、平成 22 年 11 月から山形大学人文学部の全面的支援を受け、市民と市職員と一緒に長井の現状と未来を考え、語り合い、まちづくりの課題解決にむけた取り組みにつながるよう学んでいくために行ってきた。

5つのゼミ（分野）に分かれ、先生の専門分野を活かしながらまちづくりを学んだもの。
市民塾生 39 名、市職員塾生 27 名、事務局員 14 名、総数 80 名で始まった。

② 中心市街地活性化市民検討会

各地区やまちづくり関係団体等において活躍されている市民に参集いただき、長井市中心市街地活性化市民検討協議会（H24.8.10、H24.10.16、H25.2.4）を開催した。中心市街地活性化基本計画を策定するうえでの、まちづくり及び中心市街地の活性化の現状と課題、今後の方向性を市民に対して示し、意見をいただいた。合計 3 回の開催で参加者数 200 名。

(2) 商業関係団体の連携促進

① 市内 5 商店街商業者懇談会

本会は、市内中心市街地にある 5 つの商店街組織から若手経営者が集い、中心市街地の活性化及び今後の商店街組織のあり方等を考え、市の発展・振興に寄与する目的で平成 23 年度から開催しているもの。現在のメンバーは 10 名。

② ANO 会議（※ANO とは、A：明日の N：長井を O：応援する の意味）

本会は、まちづくりに関する取り組みを行っている各団体及び関係各課の代表が参集し、情報共有と今後の方向性について意見交換し、次の取り組みにつなげることを目的に平成 21 年度から開催しているもの。現在 15 団体が参集している。

③ 観光地域づくりプラットフォーム準備会議

本会は、平成 26 年度から長井市第 5 次総合計画及び長井市観光振興計画におけるまちづくりの中でも、観光振興分野の取り組みから「交流人口を増加させ、地域経済に貢献する観光」を目指すために、市民及び団体、事業所等が一体となって観光地域づくりを推進するもの。現在 103 名が参集している。

(3) 個別事業等に関連した実践的・試行的取り組みの内容・結果等

ながい馬肉の日事業

本事業は、長井商工会議所が平成 24 年 8 月 29 日に全国で初めて制定した「ながい馬肉の日」に「バーニック・ナガイ（長井商工会議所公認キャラクター）」が、他地域ではみられない馬肉の食文化を広め、地域の活性化を推進しているもの。毎年 8 月 29 日には様々な取り組みが開催される。

[2] 都市計画等との調和

(1) 長井市第5次総合計画（平成26年3月策定）

本市の最上位計画である計画においては「にぎわいと働く場づくり戦略」を重点戦略と位置づけ、「コンパクトなまちづくりによる中心市街地の活性化」及び「長井の魅力を活かした観光と交流の拡大」を目指している。

(2) 長井市都市再生整備計画（平成24年3月策定）

「自然や歴史的施設等を活かしたまちなみを整備し、まちなかのにぎわいづくりの推進」を目標とし、「人と人がふれあうまちづくり」及び「まちなかのにぎわいづくり」を目指します。

[3] その他の事項

(1) 市長施政方針

平成27年度においては、3つに重点目標と10のチャレンジを掲げ、その重点目標の一つに「にぎわいと働く場づくり戦略」、10のチャレンジの一つに「中心市街地の活性化による新たな長井の顔づくり」と「観光交流の拡大によるにぎわいと多様な働く場づくりの創出」を基本方針に位置づけ、取り組んでいく考えである。

(2) 長井市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成27年9月に策定した総合戦略において、「人口減少の抑制」「地域経済の活性化」「活発な地域づくり」などにより、市民がしあわせを感じながら暮らせるまちを目指すことを目的にしている。

この総合戦略の具体化に向けて重点的に取り組んでいく「まちづくり・地域づくり」分野のリーディングプロジェクトに「中心市街地活性化事業の実施」を位置づけ、その他の関連する施策と連動しながら取り組みを進めることとしている。